

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名：こどもサポート教室きらり 四日市校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			法令を遵守したスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	✓			法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上（常勤換算による算定）配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			トイレが2階にあるが設備的に改善が難しい。室内には段差はない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓			会議内で改善について話し合いをもって取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		✓		今回が開所後初めての公表時期となる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		✓		今回が開所後初めての公表時期となる。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓		今回が開所後初めての公表時期となる。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			月に1度、事例検討会を実施したり、外部研修に参加したりしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			アセスメントは毎回の利用を通して常に行っている。分析の結果、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			数値や表にできる、見える形になるアセスメントシートを、社内で統一して使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			互いにプログラムの目的を明確にしながら話し合っ て行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			こだわりにならないように、教材は常に新しいものを作成しながら行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			長期休業時には生活リズムの安定を図る内容を取り入れるなどしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			避難訓練は集団で行っている。その他は基本的に個別活動で行う。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			支援の内容、担当のお子さんの確認など常に話し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓			保護者から聞き取った内容、気づいた点はすぐに報告している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			内容や様子を記載し、内容を振り返られるようになっていく。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			適切な期間でモニタリングを行い、計画を見直している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	✓			自立に向けた活動や創作活動を中心に行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	✓			児発管と主な療育担当者が同席できるようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		✓		送迎がなく、学校との関わりは他の放デイさんに比べると少ない。様子の情報交換は、適宜行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在、利用なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			言葉の面で全てを保護者から聞くことが難しい場合もあるため、機関との情報交換は大切にしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		✓		現在、卒業したお子さんがいない。ただし、大人のサービス事業所とのつながりもっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			専門機関には、適宜助言を求めていると共に、研修には積極的に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			✓	現状はできていない。地域への働きかけを行っていく必要がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	✓			協議会が開催される際は積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			送迎を保護者をお願いしている関係で、常に保護者とは顔を合わせて伝えあうことを大事にしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			✓	保護者のみへの支援はまだ行ったことがない。関わり方に戸惑いのある保護者もいるため、今後開催予定。
保護者への	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約時に丁寧な説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			適宜、相談には応じている。面談、電話などでの対応が多い。

説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓	保護者だけの会は設けたことがない。横の連携や経験の伝えあいなどができるといいという意見もあるため、今後開催を予定している。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			迅速な対応が一番大事になってくるため、初動対応について常に話し合いをしている。
非常時等の対応	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			FB やブログなどで活動内容を周知できるように努めている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	✓			鍵付き書庫での管理を徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			言語的に疎通が難しいこともあるため、見てわかるツールを使うようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			地域の子どもたちも含めた親子工作教室を開催した。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			マニュアルを職員間で周知し、その通りに動いている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			毎月、内容を変えた避難訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			研修に参加し、知識を得ている。県の研修にも参加している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			✓	身体拘束についてのマニュアルなどは整備中。現在は、内容を職員間で周知し、内容について検討中。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			おやつ提供はないため、事業所内で食べることはないが、アレルギーについては職員間で情報共有できている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			職員の誰でも閲覧できるようになっている。事例があれば会議内で検討する。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 年 月 日

事業所名 こどもサポート教室きらり 四日市校 保護者等数（児童数） 6 回収数 6 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4		トイレが2階にあるため、完全なバリアフリーという訳ではないが、設備の関係上1階にトイレを新たに設置することは難しい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	6			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	5	1		同じようなことに見えてもアプローチしている部分が違うことを丁寧に説明する必要がある。
保護者への説明等	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2		地域との交流については来年度の課題とし、イベントなどができるよう考えていく。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1		大きなイベントはできていないが、親子参観は行っている。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		苦情があった場合には迅速に対応できるようにしているが、言語的な部分でその場ですぐ回答できないこともあり、職員間のコミュニケーションに課題がある。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6			

	⑭	個人情報に十分注意しているか	6		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	2	1つ1つ丁寧に説明していく。避難訓練の様子をポルトガル語でも掲示する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	訓練の様子は日本語でしか掲示できていないため、今後はポルトガル語でも掲示できるように対応する。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	6		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。